

社会連携教育推進部門

社会との関わりを通して、大学での学びの幅を広げます。

地域課題に取り組むことで社会に対する視野を広げ、柔軟な発想力や応用力を養うことを目的とした副専攻「吉備の杜」『岡山創生学課程』の学習をサポートし、専門科目を補完するだけでなく、大学での学びの幅を広げることに取り組んでいます。



幅広い年齢層との関わり

地域において主体的に活動しながら
地域が求め、地域で活躍する力を育てます。



大学周辺の史跡で
観光ガイド体験



児島湖での
フィールドワーク



活動後のグループワークと発表



県内自治体でのインターンシップ



学内や自治体でのインターンシップの報告会



地域課題に主体的に取り組む認定される 「地域創生推進士」の称号

副専攻で定められた単位を修得すると共に、地域創造戦略センターが認定する公開イベント等において、準正課活動(地域での主体的な活動)の成果についてプレゼンテーションを行うことで、所定の要件を満たした学生に「地域創生推進士」の称号を授与しています。



岡山市の補助事業に絡め
主体的な活動を行い
投票審査で2位を獲得



令和3年度
副専攻「吉備の杜」
称号認定証授与式

ボランティア部門

地域で活躍する学生のボランティア活動を支援します。

学生へのボランティア情報の紹介のほか、活動の心構えを学ぶ講義や活動発表の研修会などを行い、学生の主体的なボランティア活動をサポートします。



ボランティア研修会の開催
年に2回程度、外部講師をお招きし、自分たちに出るボランティア活動を考えます。



学生団体SLRの活動

サービスマーケティング室(大学内)にて学生によるボランティア活動活性化の啓発活動を行います。



岡山県大学生消防応援隊

岡山県消防保安課より認定を受けた学生が、学内外の消防訓練等に参加します。

岡山県立大学 地域創造戦略センター

〒719-1197 岡山県総社市窪木 111 番地
TEL 0866-94-9100 FAX 0866-94-9105
E-mail rcr-sec@ad.oka-pu.ac.jp
URL <https://www.oka-pu.ac.jp>

お気軽にお問い合わせください!

2022年7月発行
発行者 岡山県立大学



COVID-19との共存やDXの推進を契機に さらなる地域創造を

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で社会が停滞してから2年が過ぎたにもかかわらず、まだまだ収束を迎えたいとは言えない状況です。しかし、社会は新しい生活様式、行動様式に従って動こうと模索しています。また、データとデジタル技術によって産業、業務、文化等の変革を成し遂げようとするDXやデジタル三原則の推進がこの共存とマッチし、地域創生・創造に結び付けようとする動きも活発化しています。

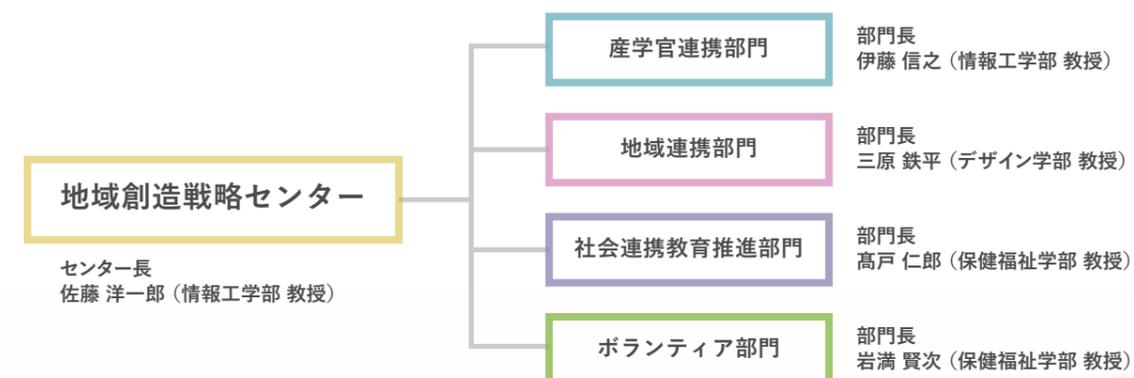
我々も、この流れを大いに利活用して、地域創造のための社会連携活動に新しい形態を導入しつつ、地域目線だけでなく、教職員目線や学生目線で満足度の高い社会連携活動を推進していきます。感染防止や多様性に対応するためには、対人距離をとり、オンラインを活用する必要もあるとは思いますが、心の対人距離は短く「密」な活動を進めていきましょう。



地域創造戦略センター
センター長 佐藤 洋一郎

組織図

地域創造戦略センターは、本学教員・学生と地域との橋渡しとなり、研究面の相談・サポートや情報発信、地域課題の解決等を行っています。同センターは、4部門で構成し、それぞれの機能を果たしながら研究と社会貢献のレベルアップに努め、地域の皆様のご期待に応えていきます。



大学概要

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として平成5年に設立されました。教育研究の理念を「人間・社会・自然の関係性を重視する実学を創造し、地域に貢献する」ことに置き、この理念に基づく人材の育成をめざしています。

- 保健福祉学部 看護学科 / 栄養学科 / 現代福祉学科 / 子ども学科
保健福祉学研究科 博士前期課程3専攻 / 博士後期課程1専攻
- 情報工学部 情報通信工学科 / 情報システム工学科 / 人間情報工学科
情報系工学研究科 博士前期課程1専攻 / 博士後期課程1専攻
- デザイン学部 建築学科 / 工芸工業デザイン学科 / ビジュアルデザイン学科
デザイン学研究科 修士課程2専攻

教員数:150名
学部学生数:1569名
大学院生:219名
※2022年5月1日現在

部門紹介

産学官連携部門

共同研究、受託研究、技術指導などの相談をお受けします。

本学の研究・技術シーズを積極的に情報公開し、産学官連携の窓口として、技術相談、研究展示会、共同研究、受託研究など以下の事業を展開しています。

(1)技術相談

産学官連携部門では、地域の企業を中心とした様々な課題についてコーディネーターがご相談に対応し、ニーズに沿った専門の教員の紹介など、課題解決について支援をさせていただきます。

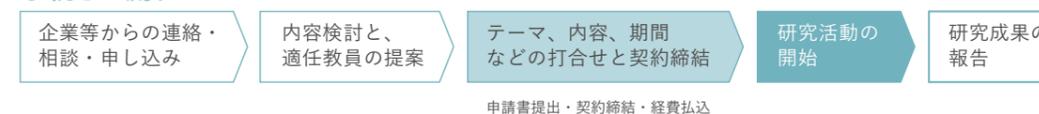
(2)アクティブ・ラボ

教員とコーディネーターが企業・団体と、訪問、来学、オンライン等により情報交換や技術相談を行います。

(3)共同研究／受託研究

- ・共同研究 企業と本学の教員が、共通の課題について共同で研究を行います。
- ・受託研究 本学の教員が、企業等から委託を受けて研究を行います。

手続きの流れ



技術相談の様子
(2019年撮影)

OPUフォーラム

本学の研究の紹介と地域の方々との交流促進を目的に、毎年開学記念日(5月29日)の頃に開催しています。



特別講演



展示会場での研究説明



展示会場での研究説明

地域連携部門

教員・学生と一緒に地域連携事業を行っています。

保健福祉、情報工学、デザインの3学部の特性を活かしながら、包括協定を締結している総社市、笠岡市、備前市、真庭市、赤磐市、岡山市を中心として、各種事業を展開しています。



備前市男女共同参画講座



親子で学ぶプログラミング教室



真庭観光局と連携した人物紹介冊子の制作

医療・看護や介護福祉の研究会を通して地域の人々の健康づくりや福祉の増進に努め、子育てカレッジ事業では様々な取り組みを進める中で、子育て支援にも積極的に関わっています。



親子で楽しむ音楽会



チュッピーひろば



子どもためのアートパフォーマンス